

売れる野菜作りをしたい

やまわき けんいち
山脇 健一さん(62歳)

米、ニンニク、タマネギ、オクラ、ハーブなどを作っています。「春の里」や「とさのさと」に出荷を始めて2年目です。これから面積を広げたいと思っています。直販所から1時間ごとに売り上げ情報のメールが届くので、出荷量や価格の決定に役立っています。

定年退職後に家業の農業を継ぎました。家庭菜園で自分が食べる野菜を作るのは簡単ですが、直販所で買ってもらえる野菜を作るのは大変です。見た目、量、価格、ラッピング、ポップの書き方など日々考えています。

直販部より



旅の楽しみ伝えたい

かたやま けいしろう
片山 桂司郎さん(54歳)

2018年3月に入社し、3年目です。学校やスポーツ団体への営業や、宿泊プランの企画立案が主な業務ですが、お客さんが到着から出発まで気持ちよく過ごせるよう気を配っています。

大学時代4年間野球部のマネージャーをしたことが今に生きています。お客さんが何をしたいかを考えて準備をしたり、高知の観光や文化について情報提供して旅の楽しみを伝えています。喜んでもらえたり、リピーターになってくれたらうれしいですね。これから寒くなるので、ユズ湯や平日限定の地酒プランなどを企画しています。ぜひはるのの湯に足をお運びください。

はるのの湯より



高知
地区

から こんにちわ
今月の○○ 気になる人

甲殿地区より



周りの人を大切にしたい

どい もとひさ
土居 源久さん(62歳)

13アールのハウスでキュウリを作っています。両親について20歳で農業を始めたときは近所の篤農家に聞いたり、手探りで栽培技術を身につけました。現在は、作りやすい品種ができたりJAの営農指導体制が充実して、新規就農者が定着するようになったと思います。

今年7月に大型バイクの免許を取って本川村の瓶ヶ森にツーリングに行きました。バイクが好きでYouTubeで旧車の動画を見て楽しんでいます。甲殿地区の園芸部長をしているので、人との関わりに気を配って、身近な人を大切にしたいと思っています。

ブドウ作りが楽しい

あきやま えりな
秋山 恵里奈さん(30歳)

春野町でブドウ栽培を始めて2年目です。ピオーネ、ふじみのり、ブラックビートなどを作っています。

のんびりしたいと思って始めた農業ですが、枝の誘引や収穫など作物に合わせて作業することが多く、そこが面白くなってきました。同じ種類でも木によって個性があるのでよく観察しています。8月から9月に収穫し、畑の前や倉庫を借りて販売しました。いつか自分の直売所を持ちたいですね。好きなことをしているので苦になりません。来年のブドウ作りが楽しみです。

森山地区より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



出荷場に次々運びこまれるキュウリ

1 春野園芸部きゅうり部会 キュウリの 本格出荷始まる



「毎月19日はいいきゅうりの日」
ロゴマーク

春野町内では9月上旬からキュウリの出荷が始まりました。令和3園芸年度は、作付け面積48.26ヘクタール（前年101%増）、昨年より4人増え、216人のキュウリ生産者が出荷予定となっています。定植時期が年々早まってきている事もあり、10月から出荷場のキュウリ選果機が始動しました。12月から翌年5月まで出荷最盛期が続き、今年度も1万tを超える出荷を見込んでいます。

販売課の高橋キュウリ担当は「販売情勢は日々変化しておりますが、定着しつつある『毎月19日はいいきゅうりの日』記念日にちなんだ取り組みを地域の部会とともに推進する事で、キュウリの販売活性化につなげたい」と取り組みについて話しました。

2 高知地区 産地パワーアップ、ハウス整備 JA高知中央会、農政会議が県に要請



要請書を手渡す武政会長と浜田知事（高知県庁）

JA高知中央会と高知農協農政会議は、高知県庁で浜田省司知事、三石文隆県議会議長、西内健副議長、黒岩正好県議会議会商工農林水産委員長に2020年度の農業振興に関する施策を要請し、武政盛博会長（JA高知県組合長）が浜田知事に要請書を手渡しました。

同会議の宮脇眞道副会長（JA高知市組合長）が労働力不足や頻発する自然災害、新型コロナウイルスの影響による需要の落ち込みなど、生産現場の現状と課題を報告。農家の経営安定のため産地生産基盤パワーアップ事業など農業関連事業の継続を要請しました。

環境制御技術高度化事業については、すでに導入した農家が規模拡大などのステップアップに活用できるよう対象者の拡充と事業継承を求めました。

浜田知事は「農業関連事業の継続を国に要望する。JAと連携し高知の農業振興に取り組む」と応じました。

3 高知地区 周年祭に2万人 とさのさと3施設が1周年



「LINE」でJA高知県の公式アカウントを登録する買い物客

とさのさと、アグリコレット、サニーマートとさのさと御座店の3施設合同で9月中旬の2日間、オープン1周年を記念し「周年祭」を開きました。新鮮な農産物を求める買い物客でにぎわい、期間中のレジ通過者は3施設で延べ2万258人となりました。

店頭ではJA高知県の公式「LINE」アカウント登録を呼びかけるキャンペーンを行い、登録、クーポン使用者にはゆずドリンクをプレゼントしました。清水洋祐店長は「生産者の協力もあり周年祭を開催できた。品ぞろえを充実させ、楽しんでもらえる産直を目指したい」と話しました。

4 高知地区 未利用資源活用を模索 アグリテックフォーラム



農業分野のベンチャー企業とパネルディスカッションする山下課長

先進的な農業ベンチャー企業と県内生産者をマッチングさせる「アグリテックフォーラム」が9月中旬、高知市内で開かれました。フォーラムに参加した営農販売事業本部の山下司課長は県内での搾汁後のゆず残渣について、処理が進まず生産量にも影響を与えているという問題を提起。これに対し岩手県の企業が「ゆず種子から搾った精油は香りがよくビジネスの可能性がある」と利用法を示しました。

実証実験プロジェクトを立ち上げるため、主催の高知県は参加者にアンケートを行い、関心の高い企業を招いて勉強会を開く予定です。

5 高知地区 ゆずドリンクでおもてなし・ 高知龍馬空港・観光客らに配布



おもてなしスタッフからドリンクを受け取る観光客

高知県おもてなし県民会議は南国市の高知龍馬空港で高知家おもてなしキャンペーンを行い、県民会議委員、行政関係者やJA職員など10人が、観光客ら約550人にゆずドリンクなどを配布しました。

この日は県ゆず振興対策協議会が協賛し、県内産ゆずを使用したペットボトルのドリンク「高知ゆず」を準備。東京や福岡からの到着便に合わせて、法被姿のスタッフらは「ようこそ高知へ」などと話しかけながら、ゆずドリンクやパンフレットの入った袋を手渡ししました。観光客らは「うれしい」「ありがとう」と笑顔で受け取りました。

6 高知地区 花の魅力知って・高校生に出前授業



花の向きを確かめながら生ける生徒（高知市春野町）

JAグループ高知などで作る高知県園芸品販売拡大協議会は、春野町の県立春野高校で、出前授業「花いけバトル体験」を開き、県産の花に触れ、自由に花をいける楽しさを伝えました。

1年生49人が参加した授業には県内産のトルコギキョウ、テマリソウ、アセビなど50種類以上の花材を用意。生徒は実際の花いけバトル形式で花材を見て色や枝ぶりを確かめ、5分間の制限時間で花いけにチャレンジしました。ペアを組んだ生徒は「時間が短くて慌てたけど、秋をイメージして花や枝を選んで2人で作り上げた」と自信を見せました。

高知農業改良普及所より

果樹の整枝・剪定について

果樹の整枝・剪定についてこれまで樹形を中心に毎年情報提供してきましたので、知っておられる方もいらっしゃると思います。そこで今回は、剪定期と樹種による着果特性についてお話していきたいと思います。

1. 剪定の時期について

剪定は、休眠期の冬に行うのが基本です。

冬の剪定は、樹形を整えたり枝の整理が中心で、落葉果樹では落葉後の12月から芽が動き出すまでの間が剪定期の目安です。開花の早いウメや樹液の流動開始が早いブドウなどは1月までに、カキやクリなどは3月までに終わらせるようにしましょう。

カンキツでは厳寒期を過ぎた2～3月が剪定期の目安になりますが、結実させたまま冬を越す小夏は収穫時に剪定を行うのが一般的です。

夏の剪定は、徒長枝の除去や込み入った部分の整理など、冬の剪定の補完として行うようにしましょう。

2. 果樹の結果特性について

「カキの花が咲かない」との問い合わせが時々あります。カキの花が咲くのは枝の先端なのに、「枝の先端がすべて切り返されていて花芽がない」といったことにまれに遭遇します。樹種ごとの枝のどの部分に花が咲き実がなるのかを知っておくことは、剪定作業をする上で大事なことだと思います。

①前年に伸びた枝の先端数芽に花が咲く樹種：

カキ、クリ、カンキツなど

これらの樹種は、枝の先端を切り落とすと花が咲く芽を切り落としてしまうことになるので、花を咲かせたい枝は先端を触らずに残しましょう。



②前年の枝に着果する樹種：

モモ、スモモなど

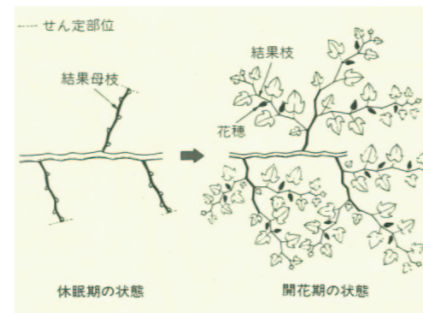
これらの樹種は、1年伸ばした枝に付く枝から花を咲かせて実を付けていきます。骨格として残す枝以外は3年程度で近くの新しい枝に更新していく枝管理が必要になります。



③前年に伸びた枝の腋芽に花が咲く樹種：

イチジク、ブドウなど

前年に伸びた枝のどの部位の芽からも花が咲くことができるので、前年枝を基部近くまで切り戻す剪定方法も可能です（イチジクの一文字整枝、ブドウの短梢整枝）。



剪定の時には、樹種ごとの特性を理解し、特性に応じた剪定を行ってください。
より詳細が知りたい場合は、高知農業改良普及所（088-861-0711）普及センターまでお問い合わせください。



鳥獣被害対策専門員からのお知らせ

自分の農地を守るために、狩猟免許を取りませんか？



鳥獣被害対策専門員
よこざき ゆうた
横佐古 優太
携帯電話:090-3189-0373

被害対策として有効な取り組みに「捕獲」があります。猟師の数が昔よりも減ったいま、農家自身が農地を守るために、狩猟免許を取って罠を仕掛けるという事例は増えています。

自分で罠猟をするのはハードルが高いと思われるかも知れませんが、私自身も3年前に免許を取って罠猟を始めたのですが、思っていたよりも大変ではありませんでした。多くの方が引っ掛かるのは、次の2点だと思います。

一つは、罠の準備をすること。どんな罠を使えば良いのか、どうやって罠を作れば良いのか戸惑うかも知れません。おススメするのは、高知県が開催する「くくり罠の製作講習会」に参加することです。その講習会ではくくり罠の製作を実際に体験でき、かつ自分が作った罠を持って帰ることができます。

もう一つ多くの方が不安を感じるのには、罠にイノシシがかかった場合に行う「止め刺し」に関してでしょう。止め刺しは危険が伴うので、難しいという人もいます。止め刺しに自信がない場合は、猟友会に電話して、ベテランの猟師に代わりにやって頂くのが良いでしょう。

現在、狩猟免許の取得にかかるお金を補助してくれる制度もあり、かなり取得しやすくなっています。取得のサポートもしていますので、興味がある方はぜひ鳥獣被害対策専門員にご連絡ください。

令和2年度 狩猟免許試験日程(令和2年11月以降)

実施場所	会場	試験日時	申込締切	試験を行う免許の種類
黒潮町	黒潮町 ふるさと総合センター (0880) 43-3369	12月5日(土曜日)	11月26日 (木曜日)	わな猟
		12月6日(日曜日)		第一・二種銃猟
安芸市	安芸市総合 社会福祉センター (0887) 35-2915	12月20日(日曜日) 午前10時から	12月12日 (土曜日)	わな猟
高知市	高知県立 ふくし交流プラザ (088) 844-9234	1月23日(土曜日)	1月13日 (水曜日)	わな猟
		1月24日(日曜日)		第一・二種銃猟

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

退職して始めた畑仕事。素人なりにスイカ、ナスはよく実ってくれました。さあ、秋冬の野菜のために畑を作ろう！と楽しんでやっています。
(高知市介良 61歳)

▼夏野菜は大成功でしたね！ サツマイモも植えていたそうですがたくさん収穫できたでしょうか？

今年後半の小さな目標。クリスマス、お正月にごちそうを食べるために運動するぞ〜！
(春野町森山 64歳)

▼ブドウに梨、サツマイモ… 秋はおいしいものがたくさん。秋も冬もおいしいものを食べながら体重を維持できたら理想的ですね。

特集の女性部活動の新しいカタチ、夫が嶺北の出身なので「こんな活動があったんだ」と読んで読みました。
(春野町南ヶ丘 73歳)

▼れいほく女性部の「牛のうどん屋さん」ランチ会。手作り料理のおいしさや楽しそうな雰囲気が紙面から伝わってきます。コロナ対策を取りながら県内各地で女性部活動が始まっています。

発酵食品に関心があります。「簡単こうじ作り体験」参加してみたかった。次回の予定など教えて欲しいです！
(高知市大津 69歳)

▼JA高知県の公式LINEをご登録いただくイベント情報が送られてきます。背表紙右下にあるQRコードから簡単に登録できます。Facebookやインスタグラムもぜひご覧ください。

コチットの直販所めぐりのオススメ品は行った時の楽しみです。忘れないように携帯で記事の写真を撮っています。
(高知市十津 64歳)

▼ナイスアイデア！ 持ち歩いて写真で見えて確認できますね。

キリン氷結文旦、ビール、お酒は苦手ですが文旦好きなので飲んでみました。確かにスッキリさわやかなおいしさでした。
(春野町森山 62歳)

▼発売と同時に私も飲んでみました！ 文旦好きも納得のさわやかさで、文旦果汁の後味の良さが出ていると思いました。

西山さんときのグラタン作ってみました。甘くておいしかった。おやつに食べてもいいなと思いました。
(高知市城山町 52歳)

▼ほくほく甘い西山さんときのグラタンはスイーツと言ってもいいですね。JA高知県のホームページにもサツマイモのレシピがあるのでぜひ作ってみてください。

INFORMATION

お知らせ

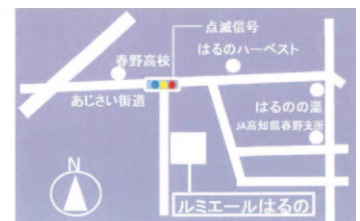


組合員の皆様へ

法事やお葬式など無料相談お気軽にご相談ください。

JA葬祭では、誠心誠意・真心込めたサービスで大切な方とのお別れをサポートいたします。まずは、お電話にて【お葬式相談】と、お問い合わせください。会館入口に「のぼり」を提示している時は、相談係員が駐在しておりますので、お気軽にお越しください。 ※不定期に駐在


 【お問い合わせ先】
ルミエールはるの
 高知市春野町弘岡下1451-1
 受付24時間 365日対応 ☎ 088-894-5911
 ルミエール各会館では
 新型コロナウイルス感染症対策を実施中。



【連絡先一覧表】

春野支所	営農経済センター	営農経済センター	養鰻出荷・加工場
総務課 894-3033	販売課 894-2222	店舗課 828-6116	894-5424
信用課 894-2203	営農渉外課 894-5660	JAグリーンはるの店 828-6161	はるちゃんのアイス屋 894-2760
共済課 894-3304	購買課 828-6111	配送部門 828-6113	JA子会社
金融渉外課 894-3309	ビニール加工場 894-4264	重油係 828-6115	(株)JAエナジーこうち 春野給油所 828-6212
高吾サービスセンター(事故処理) 892-3605	農機センター 894-5290	Aコープはるの 894-2225	ルミエールはるの (フリーダイヤル24時間) 0800-200-5911